

女性と45歳以上の男性による軟式野球リーグ

三次きんさいリーグ 趣意書 運営及び試合規定

主催 三次きんさいリーグ事務局

趣意書

三次地域は以前よりアマチュア野球が盛んで、多くのプロ選手も輩出している。しかしながら、加齢、性別等により、野球を楽しみたくても周辺にその機会がない状況の中、近年、全国的な拡がりを見る中高年及び女子野球の三次市を中心とした普及を通じて、中高年世代の健康増進、意欲向上、親睦と地域活性化に寄与することを目的とする。当初の窓口、事務局は三次ロータリークラブ内とし、全日本軟式野球連盟還暦野球、古希野球、各地シニア野球、女子軟式野球、ロータリークラブガバナー杯等の運営方法を参考にし、効率的な運営方法、試合規定等を定める。

組織、運営方法、試合規定 (2019年度)

1、組織

- (1) 名称 三次きんさいリーグ (MKL)
- (2) 事務局 三次ロータリークラブ内 三次市三次町 1843-1 tel 0824-62-3127
- (3) 構成 三次きんさいリーグ所属チーム 公認審判団
- (4) 後援 三次市教育委員会 甲奴町振興協議会連合会 三次ロータリークラブ

2、運営方法

- (1) 選手登録資格は45歳以上(年度)の男性および年齢制限の無い女性。各チーム連絡窓口担当者を定め、統一の用紙に氏名、生年月日、背番号等を明記したメンバー表を作成し事務局に届ける事。内容変更あれば変更したメンバー表をそのつど事務局に届け出る事。事務局は全ての連絡事項を各チーム窓口担当者で行う。
- (2) 年間を通じて楽しむために合計7チームまでのリーグ戦方式とする。参加チームは前年度参加チーム優先制での年度毎申し込みとし、事務局に個人での参加申し込みがあればそのつど状況に応じて紹介する。
- (3) 総当たり勝敗数及び対戦結果で順位を決定する。同位の場合は得失点差で順位を決める。不戦勝の点数は1対0とする。
- (4) 主たる球場は甲奴町カーター記念球場とする。
- (5) 審判は主審のみ公認審判員に依頼し、当番チームの6名が塁線審3名と得点揭示役を兼ねるボールボーイ2名、カウンター1名を努め、計7名でその試合を統轄する。
- (6) 各チーム傷害保険加入が望ましい。試合中の事故、怪我等は全て当事者において処理するものとし、事務局はその責任を負わないものとする。
- (7) 参加料は1シーズン、1チーム¥10,000円とする。
- (8) 運営費等必要経費は年会費を基本として賄うが1チーム毎の年会費は委員会で決定し、万一不足の生じた場合は全チームで折半する。事務局は年度収支を報告する。

3、試合規定

(1) 1試合5回まで90分以内とし、3回終了を以って試合成立とする。同点の場合、延長戦は行わず9人でのジャンケンで勝敗を決定する。得点差が3回終了時、10点を越えた時点でコールドゲームとする(サドンデス方式)。また、ギブアップ制を採用する。尚、コールドゲーム成立後に時間内で次戦準備に支障ない状況であれば、両チームの合意の下、練習試合としての延長を認める。ただし、公認主審は参加しない。

(2) 全員、登録名簿と一致した背番号、ゼッケン表示の事。着衣の様式は、野球に適したものであれば良い。連合チームで参加の場合はユニホームデザインで明確に区別できるなら同じ背番号を認めるが、メンバー表にその旨記載の事。怪我、事故防止のため、打者は全員ヘルメットを着用する事。捕手はヘルメット、マスク、ボデープロテクター、レガース等を着用する事。金属製スパイクの付いたものは不可とし、樹脂またはゴム製のスパイク使用の事。

(3) 投手に限り、男性は50歳以上とする。試合球は検定球のM号とする。試合開始前に、副審、ボールボーイに両チーム公認球5球、合計10球を預ける事。外フェンス内の場外ボールは攻撃側が回収する。試合終了後、副審は残ったボールを返却するが、紛失で割り切れない場合は敗戦チームに多く返す事。

(4) 塁間距離は全日本軟式野球連盟一般公式ルールに基づくが、投本間の距離は60歳以上の男子投手および女子投手は16mも選択できる。(少年野球同様)尚、女性投手は17mも選択できる。(女子軟式野球同様)

(5) 年齢差を補うため両チームの事前協議で、盗塁禁止制を選択できる。リード、牽制、パスボール、暴投時の走塁、ボーク判定は通常通りとする。

(6) DH制を選択できる。ベンチに下がった選手の再出場を認めるが、そのさい守備機会からとする。

(7) アピールプレイは認めない。親睦とフェアプレイ精神を以ってお互い担当審判団に全て一任する。上記以外は全日本軟式野球連盟の現行ルールに準ずる。

(8) 使用ベンチは組み合わせ枠の左側を1塁側とする。ベンチ内、フィールド内は常時禁煙とする。

(9) 第一試合の両チームは早めに集合し、試合開始時間の10分前までに備品搬出、ベース、ライン等の準備を行う事。試合終了後は両チーム全員で次のプレイボールまでにグラウンド整備を済ませる事。最終試合の両チームはグラウンド整備後、ベース、備品を搬入する事。副審担当チームは主審と試合開始、進行を協議し、試合結果を事務局まで連絡する事。

(10) 雨天順延の連絡は7時迄に事務局が行う。振り替えスケジュールは予備日を当てる。予備日はリーグ戦開始時の日程のみで、試合不成立もあり得る。

(11) チーム事情により選手が揃わない可能性ある場合は、当日の対戦予定チームの迷惑とならぬよう、遅くとも試合の2日前の17時迄に事務局まで報告の事。試合当日となってやむなくプレイボールの時間までに揃わない場合は、1対0の敗戦とするが、対戦チームの意向があれば練習試合とすることを認める。

(12) ロータリークラブ同士の対戦に限り年齢制限を解除する。

(13) これ以外の規定は要望、状況に応じて事務局で協議し決定する。